

MATSUGASAKI NO MORI

認定こども園

まつがさきの森幼稚園



自然



広い自然豊かな環境の中に落ち着いた雰囲気のある園舎があります。

窓からは竹林が見え、風の音や鳥の鳴き声が聞こえます。また森の匂い、きらきらとした木洩れ日、雨の音、雨の匂い。その環境を子どもたちは身体で感じ成長していきます。

子どもは入園する園を選ぶことは出来ません。大人が子どもの目線で園選びをして欲しいと願っています。



園庭開放

月曜日～土曜日 9:00～14:00

1日定員10組（要電話予約）

子育て支援とことこ

毎月1回 対象0.1.2歳

※予約申し込み日は、ホームページでお知らせいたします。



ホームページはこちらから

認定こども園 まつがさきの森幼稚園

〒277-0835

千葉県柏市松ヶ崎225-3

TEL 04-7132-8622



まつがさきの森幼稚園は、子ども達の日々の生活を大切にしたいという思いがあります。

日々の生活で子どもたちが目にするもの、触れるもの、食べるもの、その1つ1つが子どもたちの成長に関わっていくと思います。教育は教えれば良いという時代から、子ども達が自ら興味、関心を持ち、考え、行動していく時代になっていきます。それらを培うには幼児期の「遊び」はとても重要だと考えています。

子ども達が自らを楽しませ遊ぶ力は、全ての原動力になります。その力は赤ちゃんの頃から本能的に持っています。色々なものに自然と興味をもち、触って、掴んで、舐めて、動かして、自らの欲求を満たします。その見るもの触れるものが不規則で整っていないものであればより刺激を受け、幼児期になればうまく使いこなそうと工夫をします。自然の遊び道具は日々変化し、昨日と同じ遊びをしようとしても、昨日はできたことも今日は出来ないなんてこともよくあります。気温、湿度、長さ、重さ、硬さ、柔らかさ、言葉や意味は理解できていなくても、それを子ども達は肌で感じ違いを学んでいます。部屋の中でおもちゃで遊んでいては学べない体験だと思います。

教育方針

新しい時代の要請を踏まえ、自然を愛し豊かな心を持つ子どもの育成を期し次のような目標を設定する。

「豊かな人間性と学びの基礎を身に着けた、健康でたくましい子ども」の育成に努める。

～めざすこども像～

- ・自分を愛せる子
- ・思ったことを話せる子
- ・人の話をよく聞ける子
- ・考える力がある子



設備

○防犯カメラ…20台

- ・防犯目的はもちろん、乳児の教室に3台のカメラを設置し怪我や事故の様子をうまく説明できない乳児の様子を見守っています。

○エレベーター…2台

- ・車いすでも移動が可能です。怪我等で階段の上り下りが困難の時も利用します。

○ジアイーノ…ランチルーム、乳児の部屋に設置

- ・空間除菌脱臭機，菌やウイルスの抑制にとっても効果があります。

○送迎バス専用通路

- ・一般の車両が入れない専用通路を設け安全に乗降できるようにしています。また子ども達が園バスと接触しないように区切られています。

○登降園管理タブレット

- ・簡単なタブレット操作で園児の登降園を管理します。

○逆浸透膜浄水器

- ・赤ちゃんのミルクや飲用水として使用しています。普通の浄水器よりもさらにキレイな水を作ります。

○AED

- ・きちんと使用できるようにAED研修も行っています。

施設 (2022年度現在)

○幼児棟…山

- ・ 幼児保育室 (年長2クラス 年中2クラス 年少2クラス)
- ・ こども図書室 ・ 未就園児教室 ・ 職員室



○乳児棟…森

- ・ 乳児保育室 (0,1歳児1クラス 2歳児1クラス)
- ・ ランチルーム ・ 給食室 ・ 室内遊具 (クモの巣ネット)
- ・ 事務室



基礎となる、根、芽を育てる5領域

- ①心身の健康に関する領域
- ②人間関係に関する領域
- ③身近な環境とのかかわりに関する領域
- ④言語の獲得に関する領域
- ⑤感性と表現に関する領域

まつがさきの森幼稚園では、子どもたちの言葉、行動を遊びや活動を通して、どの領域を学んでいるのかをドキュメンテーションを用いて、保護者の皆様に伝えています。

○ホール棟…海

- ・ ホール
- ・ こかげ (2号児午後保育室)



A君：虫捕まえた。どうやって虫籠にいれよう？
 B君：俺に貸してごらん
 A君：逃がさない？
 B君：うん
 A君：いくよ！せーの！
 B君：あっ！
 A君：もう！逃げたじゃん
 B君：あいつ早すぎだよな！
 A君：もう～捕まえてよね～
 B君：あっちに行ったぞ！
 A君：待ってよ。あれ俺のだからね

・ ごめんがなくても、許し合える人間関係がきちんと構築できているのがわかる場面でした。 領域：人間関係 言語

～社会性を身に着け、対話的な学習の基礎を培う～

幼稚園で身につけたい能力として、コミュニケーション能力（社会性）があると思います。

このコミュニケーション能力はただ、集団生活をしていけば身につくわけではありません。先生が前に立って指導をしたり、みんなで同じ物を制作したりするのは、集団で行っているだけの集団生活ではありません。

本当にコミュニケーション能力を身につけさせたいのであれば、遊びの中でお友達と言い争いをしたり、友達と一緒に遊ぶために自分をアピールしたり、友達と協力して一つの物を作り上げたりしたときに、はじめてコミュニケーション能力が身に付きます。

揉め事をさせないような指導では身に付きません。

～ひとりでも安全に行動できる子どもを～

自然の中には、木の根、地面の凹凸、ぬかるみ、斜面、段差があり、気にせず遊べば、つまずいたり、滑ったり、落ちたりしてケガをします。

また、木には毛虫がいたり、ハチが飛んできたりすることもあります。それらを子ども達は、認識し自然と気を付けながら遊ぶようになります。それが危険回避能力です。大人が見ていないところでも安全に過ごせるようになることが本当の安全教育だと思います。

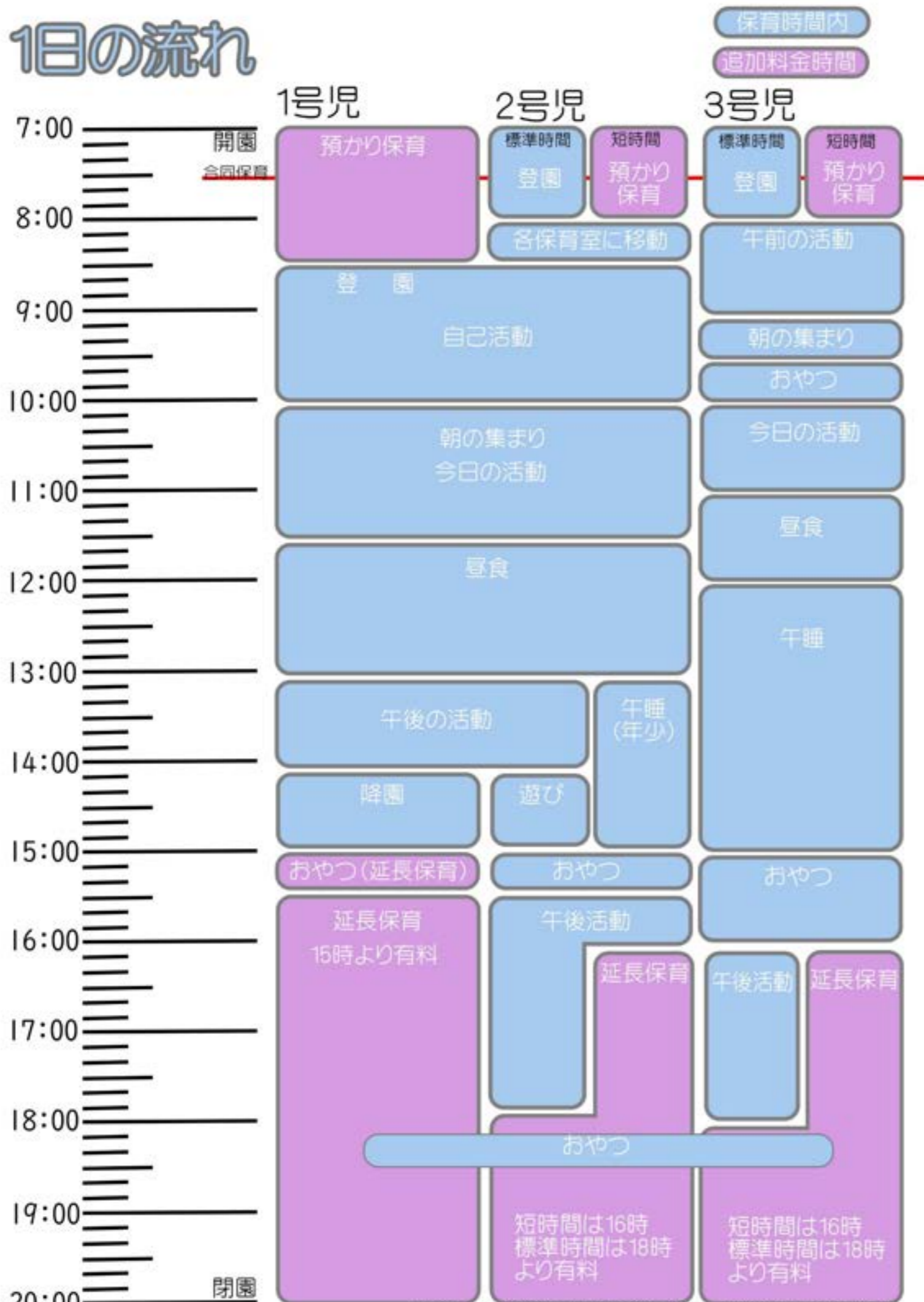
そのためには、ある程度、子どもの行動を信じることも大切です。この子ども達なら、できる、やれるという気持ちで職員は日々見守っています。小学校に行くまでに、大人に手を借りずともケガを未然に防ぐ能力を身に着けることが園の目指すところです。



年間行事



1日の流れ



※0歳児の授乳はお子様に合わせて提供しています。

子どもと保育者の関わりで大切にしている3つのHと3つのM

3つのH

- ・ほめる (HOMERU)
- ・はげます (HAGEMASU)
- ・ひろげる (HIROGERU)



3つのM

- ・みとめる (MITOMERU)
- ・みまもる (MIMAMORU)
- ・まつ (MATSU)

H・Mは、1つずつだけでなく、その子に合わせて組み合わせることで、より深く関わるができるようになる。

「認め励ます」「認め見守る」このようにその時の状況で子どもたちとの関わり方を変えていきます。

その中でも「見守る」「待つ」は子どもとの関わりの中でもとても重要です。保育の中での、見守るは、ただ子ども達がケガをしないように見張ることではありません。

見守るとは、見→その子をしっかりと見てその子を知ること。
守る→成長しようと試行錯誤しているその気持ちを守る。

待つとは、その子の成長の芽が伸びるのを待つ、時期を待つ。
今できないからと言って出来ない決めつけない、その子にいつでも、伸びるチャンスを与えてあげることが「待つ」なのです。

年齢ごとのねらい

0歳児

- ・健康で安全な環境の中で保育者との信頼関係を築き、情緒的に安定して過ごせるようにする。

1歳児

- ・安心できる保育者や友達との関わりの中で発達に応じた活動を楽しむ。

2歳児

- ・保育者や友達と安定した関わりの中で、発達に応じた活動を楽しむ。

3歳児

- ・保育者や友達との関わりを広げ、基本的な生活習慣を身に付け、言葉のやり取りを楽しむ。

4歳児

- ・生活に必要な習慣や態度を身に付け、話をよく聞きながら、保育者や友達と一緒にいろいろな活動に取り組む。

5歳児

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向け、友達と協力し、作り上げる楽しみを感じ、小学校への意欲・希望を高める。



外部講師による指導

<スポット指導>

子どもたちが、今、興味や関心を持っていることに合わせた外部講師を呼び、今まで以上に、子どもたちが深い学びをできるような環境を作っていきたいと思っています。

予定している講師として、生物、化学の講師。移動動物園。小学校の先生。

外国人講師（外国語）等、また保護者の方には色々な職業の方がいるのでその方に来て頂きお話をお伺いできればと思っています。

<スマイルタイム>

今までの体育指導とは違い、指導することが目的ではなく、体の使い方や動かし方を知り、遊びがより発展し、体を動かすことの気持ちよさや楽しさを知ることが目的としています。



課外授業

子どもに習い事をさせたいと思っているけれど保育園では難しいと思っている方も少なくないと思います。幼稚園に通わせているお子様の7割がなにかしらの習い事をしているといわれています。

保育園で習い事に通う場合は、保護者の方がお仕事に都合をつけ、連れて行かなくてはなりません。

でも、こども園では、お子様をお預かりしている間に課外授業を受けることができます。

<まつがさきの森幼稚園の課外授業>

サッカー教室…火曜日

チアダンス教室…木曜日

体操教室…金曜日

バレエ教室…金曜日

ピアノ教室…土曜日（個人レッスン）

※バレエ教室は、レッスン場所が違うため保護者の付き添いが必要になります。